トゲソの会活動ニュース4号

8月～12月

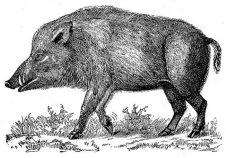
2019年1月

NPO法人
五泉トゲソの会

お世話になっている皆様へ

明けましておめでとうございます。

賀　正



　五泉トゲソの会は２１年目となりました。１０月にトゲウオシンポジウムが岐阜県大垣市にあり、県外のトゲウオ団体と交流してきました。１月４日からは新潟労働金庫五泉支店さんの協力でＳＤＧsの取り組みとして、絶滅危惧種保護の「トゲソ募金箱設置」をいたします。労金にお越しの際はご支援をお願いいたします。どうぞ、今年も宜しくお願い致します。

　１月１日　　■五泉トゲソの会　理事一同

今後の活動予

▼皆さんの参加をお願いいたします。事務局へご連絡を。

■２月１１日(祝)10時半～
場所:イオン新発田店
黄色いレシートキャンペーン活動

イオンさん店頭で助成となるレシートの投函をお願いする活動です。

■３月１0日(日)
10時～15時まで
什器を楽しむ食事会

昨年に引き続いて
什器を使った食事会を実施いたします。坂田家の素晴らしい漆器でいただきます。

◎労金さんにトゲソの募金箱を設置（1／４開始）

トゲソの会では、新しい試みとしてトゲソの保護を目的とした「トゲソの募金箱」設置をしました。

　これは新潟県労働金庫五泉支店さんの協力で１月４日から店頭に設置されることになりました。

トゲソ募金箱設置の目的はＳＤＧs「15.5及び15.a」の絶滅危惧種を保護し絶滅を防止するために取り組むものです。（右:トゲソの募金箱とチラシ）

　募金箱は「**2018 年度新潟ろうきん福祉財団ＮＰＯ等助成事業**」より製作したものです。制作者は安田町の手塚太一さんです。ダイナミックなトゲソが印象的にデザインされています。

【参考】　ＳＤＧsとは「持続可能な開発目標」と呼ばれています。2015年の国連の持続可能な開発サミットで採択された17のグローバル目標、169のターゲットを指しています。

★　トゲソの保全は目標「15.陸の豊かさを守ろう」の中でターゲット「15.5/自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年度までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講ずる」に該当します。

　なお「15.a」では「生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の動員及び大幅な増額を行う」とあり、その取り組みとして実施します。

1、新津高校理科部さん、トゲソの生息調査を実施（8月11日）

▲高校生のトゲソ調査風景

新津高校の理科部さんが赤羽地区でトゲソの調査をを実施しています。顧問の先生から連絡をいただき、調査を見てきました。

この生息地はトゲソの会が管理できていない生息地です。トゲソの生息を心配していました。先生は、ここで前任校 4 年間、新津高校へ来て2年間、計6年間にわたって調査をしています。

水路は 3 か所を調べています。その内に2箇所はすでに生息の確認が取れなくなったそうです。やはりここにも危機が迫っていました。この日は男子 5 人で調査をしていました。2か月に1回、いつも同じ 10m区間を調査しています。この日はトゲソ 1 匹しか確認できませんでした。この高校生たちに何か応援してあけることはできないだろうか、と痛感してきました。

2、早出川で「夏休み親子探検隊」を実施する（8月19日）

トゲソの会が共催し生物多様性ネットワーク新潟さんが主催する「夏休み親子探検隊」が開かれました。清流スクールは、今年から中止となりました。

夏は猛暑が続きました。この日は暑くもなく善願橋下で楽しく開かれました。

午前中は、生き物調べをしました。川は綺麗のようですが流れがないため泥がたまっていました。また、大量の外来種牛ガエルのオタマジャクシが見つかりました。

ギギ（関西系移入種）という鳴く魚がとれました。

ヌマチチブはテトラポットの中に隠れており、釣りをしていた児童が瞬く間に 10 匹を釣り上げ喜んでいました。午後からはカヌーに乗り、楽しくすごしました。

右上：捕れた魚の説明と学習／右下：家族でボート乗り楽しむ

3、少学校の学習支援と生き物調べのお手伝い　9月～10月

東小学校（9/14・12/10）・南小学校（9/19・10/17）・村松小（9/20・10/14）

◆東小学校

★9月14日に浄化実験を行いました。5回目の学校支援でした。あわせて、新潟県が作成した「こども環境白書」を紹介しました。
その後12月10日には素晴らしい学習成果を保護者に発表してくれました。

▲9/14　水の浄化実験と環境白書

▲12/10　水学習の発表会

◆南小学校

★　9月19日に南小学校にあるビオトープの清掃をしました。これは次回のトゲソ生息数調べの前段準備として行ったものです。水草を抜き、泥上げをして生息環境を改善しました。

続いて10月17日にはビオトープの「トゲソの生息数調査」を行いました。これは毎年行われているもので網を使ってトゲソを捕獲、大きさと数を数えました。結果は112匹（大12中41小52匹）の生息が確認されました。南小のビオトープは平成11（1999）年に完成し、生息数調査は12回目となります。

▲9/19ビオトープのキレイ作戦

▲10/17トゲソの生息調査　112匹

【生息数結果】	
2017年	2018年
10月4日	10月17日
106匹	112匹
大16匹 中58匹 小32匹	大12匹 中41匹 小52匹

◆村松小学校

毎年、村松小では学校脇の滝谷川の水質を調べています。**9月20日**に水生昆虫から川の汚れを判定する調査を実施しました。調査では水質階級Ⅱの「ややきれいな水」と判定されました。今年で10回目の調査です。環境省の「全国水生生物調査結果」に報告をしました。**10月4日**は浄化実験、**10月14日**は全校で学習の成果を発表してくれました。

▲9/20　滝谷川調査

▲10/4　水の浄化実験

▲10/14　全校発表会

◆川東小学校

★川東小では、学校前の新江川でトゲソと水の汚れ調査をしています。8月30日は生き物調査で川に入りました。トゲソの他にモクズカニを捕獲しました。捕獲した魚類はビオトープに放流しました。9月5日は川の汚れを知る浄化実験を実施しました。

▲8/30　新江川生き物調査

▲9/5　水の浄化実験

4、生涯学習フェスティバルに出展。展示・魚ゲームなど（9月30日）

◆　9月30日、市主催の生涯学習フェスティバルに参加しました。トゲソの会では、展示とトゲソの水槽を設置しました。

また、会場が新しくリニューアルした中ホールで魚の釣りゲームと漆器の販売を行いました。

フェスティバルでは生涯学習団体が、1年間の学習成果の展示や歌や踊りの発表をします。「淡水魚のお魚釣りゲーム」は小さい子に人気でした。

5、18回目の生息数調査を実施。猿和田トゲソが激減。（10月21日）

◆参加者は北越銀行「まごころの会」、下越南地区郵便局長会、労働金庫、日本CMK㈱蒲原工場さん、新潟大学、日本自然環境専門学校の学生さん、新津高校、加茂農林高校の生徒さん。地本川東中学校生徒さんなど45人でした。※敬称略

▲左上：朝打ち合わせ　左下：土堀調査　▲右上：猿和田調査　右下：昼食会と交流

調査は毎年実施し今年で連続18回目となりました。トゲソの会としては自慢してもよい活動でないかと思います。幸い天候もよく、45名の皆さんから手伝いに来ていただきました。

当日は大勢の参加があったので午前中に2箇所の調査を一挙に実施しました。午後からは土堀の下流部を調べました。お昼は坂田家でカレーをいただきました。合間に樋口事務局長よりトゲソの説明があり、参加者の自己紹介を含め交流を行いました。

猿和田水路の生息数が激減したのは、7月に100匹以上確認したたけにショックな結果となりました。日本CMK㈱蒲原工場さんが、事前準備として草刈りに来てくれました。

◎猿和田地区のトゲソの激減原因⇒今年の夏の暑さと渇水でないかと思われます。湧水が柵板底部より出ていますが、降水がなかったことにより減少し、水温が上がり、コカナダモが大量発生したことが要因かと思われます。これからモニタリングを続け注意して推移を観察したいと思います。

【生息数の変化】

場所／年	2001年	2008年	2015年	2016年	2017年	2018年	増減
土掘水路	176	1,598	153	125	25	66	+41
猿和田水路	156	179	232	92	232	7	▲225

【今後の日程】3月31日（日）トゲソ生息地春の清掃活動　10時より

※報告事項が多くあり、10月～12月の活動が載せられませんでした。次号で報告いたします。

■ 特定非営利活動法人　五泉トゲソの会　理事長　中村吉則
事務所　住所　959-1643　五泉市土堀295番地　月･金　午後在宅
電話　0250-47-4439･FAX 0250-47-4440　ﾒｰﾙ　togeso@jewel.ocn.ne.jp
理事長連絡先　住所　956-0862　新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1
電話･FAX 0250-22-0271　ﾒｰﾙ　togeso@beige.plala.or.jp
■ ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm
五泉トゲソの会は Facebook で発信しています。https://www.facebook.com/togeso